

お米の国に春が来た 実りを願う「田植祭」の数々

「地元で伝わる祭りや風習が知りたい」「子どもたちに地域の歴史や文化を教えたい」などの声を参考に、今回から新しいコーナーを設けました。私たちの暮らす地域には、その土地に伝わる文化や風習がたくさんあります。そのひとつひとつには、人も自然も大事にして、みんなが長く健康で幸せに暮らすための知恵がありました。私たちも知っておきたい、子どもたちにも伝えたい、そんな地域の歳時記を紹介していきたいと思います。1回目は、米どころの多い東北・新潟県ならではの歳時記「田植祭」です。



山家田植踊 (山形市)

山形市は、実は日本一の「田植踊市」で、現在、伝わるものだけでも11組。山形県全体では村山地方や最上地方に多く見られます。この山家田植踊は、藩政時代から山家村（現在の山形市山家町付近）で伝承されています。その地域にある山形市立鈴川小学校では、毎年1月から地区の方々の指導を受け、その技を6年生から5年生に受け継いでいます。その成果が、鈴川町4丁目の虚空蔵堂（こくうぞうどう）境内で、5月の山家虚空蔵祭りに披露されます。

◎問い合わせ／山形市教育委員会文化財保護係 TEL.023-641-1212



佐渡の車田植 (新潟県佐渡市)

佐渡の車田植はとっても珍しく、日本全国でこの風習が残っているのは2カ所だけ。北鶴島（きたたうしま）の北村家が守り伝える車田植は、古い田植え神事を残しているとして国指定重要無形民俗文化財にもなっています。北村家では、5月中旬、田植えじまいに行われます。3人の早乙女が畦（あぜ）から田の中央へ集まり、そこに苗の半束を寄せ合わせるように植え、そこから車状に外側へ「の」の字を書くように、後ずさりしながら植えていきます。畦では村人による田植唄が唄われ、昔から豚々と続いてきた、自然への感謝と米づくりへの真摯な思いが伝わってくるようです。

◎問い合わせ／両津郷土博物館 TEL.0259-23-2100

八戸えんぶり (青森県八戸市)

毎年2月に八戸市の中心街で行われる春を呼ぶ豊作祈願のお祭りで、国の重要無形民俗文化財。馬の頭をかたどった烏帽子をかぶり踊る舞は、稲作の動作を表現しているそうです。

◎問い合わせ／八戸観光コンベンション協会 TEL.0178-41-1661

雪中田植え (秋田県北秋田市)

旧正月にその都市の稲作の予祝、そして豊凶を占う行事として農家で行われてきました。一時途絶えましたが、地域の方が復活させ、毎年1月15日に北秋田市の大太鼓の館で行われるようになりました。

◎問い合わせ／JA 鷹巣町青年部 TEL.0186-63-1140



桜の咲く4〜5月になると田植えが始まりますが、ちょうどその頃、豊作を願う「田植祭」が各地で行われます。私たちの主食であり、「八十八の手間」をかけて育てる「米」づくりが本格的に始まる田植えは、米づくりをしている人たちにとってはもうひとつのお正月のようなもの。地域全員で心を合わせる大事な歳時記なのです。地域それぞれに特徴があるのも魅力的。地域の人たちが大事に守ってきた「田植祭」を子どもたちに見せてあげたいですね。米の大切さ、食の大切さを感じてくれるかもしれませんものね。

春田打 (岩手県北上市)

北上市下江釣子（しもえづりこ）で小正月にその年の豊穰を祈願するために行われてきた春田打。最近では、5月に行われる新渡戸稲造記念館祭（花巻市）や地元北上市で8月の第1週の土〜月曜日に行われる「北上みちのく芸能まつり」、9月の「江釣子古墳まつり」でも披露されます。お面をつけて踊るこの田植踊は県内ではこの辺りのみ。昭和58年に岩手県無形民俗文化財に指定されています。田打ちから田かき、種まき、田植え、稲刈り、お田の神まで、農作業の様子を順に、簡単な身振りで演じます。これは中世芸能の特色をよく残していて、全国的にも貴重な伝承なのです。見せ場は人が中に入った馬が登場する「田かき」の場面。狂言風のコミカルな動きが見る人を和ませます。

◎問い合わせ／春田打保存会 TEL.0197-77-3361



秋保の田植踊 (仙台市)

国指定重要無形民俗文化財でもある「秋保の田植踊」は、昨年7月、ユネスコ（国連教育科学文化機関）の「無形文化遺産の保護に関する条約」に基づいて日本が提案する候補14件に選ばれました。今年の秋には登録が正式に決まるのだそうです。「秋保の田植踊」には、湯元、馬場、長袋（ながふくろ）の3つの地域それぞれの田植踊りがあります。イラストは湯元の田植踊ですが、3つの地域とも美しい装束を身にまとった早乙女と弥十郎（道化役と口上役を兼ねた役）、お雛が登場します。地元の小中学生が華やかな衣装で一糸懸命に踊る姿はとても微笑ましく感動的。5月5日、秋保温泉・湯元薬師堂の祭典で見ることができます。

◎問い合わせ／宮城県教育庁文化財保護課 TEL.022-211-3683



伊佐須美神社御田植祭 (福島県会津美里町)

毎年7月12日に行われる伊佐須美神社御田植祭は、伊勢神宮の朝田植、熱田（あつた）神宮の夕田植と並び、「高田の昼田植」と称され、古くから日本三田植に数えられる伝統の神事です。はじめに小中学生による獅子追い行事が行われます。これは田を荒らす動物を追い、豊作を祈願した名残り。その後、地元・佐布川地区の男性たちが早乙女に扮装しての早乙女踊りや稚児舞が奉納され、神輿渡御や田植式が行われ、その年の豊作を祈願します。祭りで唄われる田植え唄は、中世の名残りをとどめ、福島県で最も古いものと言われています。

◎問い合わせ／伊佐須美神社事務所 TEL.0242-54-5050

